

平成 25 年度 第 1 回日進市男女平等推進苦情処理委員会議 議事要旨

開催日時 平成 26 年 3 月 13 日 (木) 午後 6 時 30 分～8 時 00 分

場 所 南庁舎 第 5 会議室

出席委員 隠岐美智子、小倉祥子、可児康則 (敬称略・五十音順)

欠席委員 なし

事務局 水野和秀 (市民生活部長)、杉浦敏 (市民協働課長)、杉田武史 (同課長補佐)、  
森部江美 (男女平等推進係主査)、村田修子 (同主任)

傍聴の有無 無

議事及び発言内容

発 言 者	内 容
	1. 開会 2. 委嘱式 3. 市民生活部長あいさつ 4. 委員自己紹介・事務局紹介 5. 会の趣旨説明 6. 傍聴の確認 7. 資料の確認
事務局	議題(1)男女平等推進苦情処理制度について (苦情処理の制度と処理の流れについて、資料 1、2 に基づき説明。また、 苦情処理制度の PR について、資料 3、4 に基づき説明)  何か質問等はございますか。
委員	苦情申出 1 件につき 1 人の委員が調査にあたるということでした。 当該機関への調査というのは、私たち委員が直接行うのでしょうか。また、 それは主に事実関係の聞き取り調査などになるのでしょうか。
事務局	申出内容によると思いますが、主に庶務担当である市民協働課 男女平等 推進係を通じ、申出にかかる調査をしていただく形になると考えておりま す。

発 言 者	内 容
委員	分かりました。
事務局	<p>議題(2)男女平等推進苦情処理制度における平成 25 年度の申出状況について</p> <p>今年度の申出案件は無し。3 月末日までに申出が無ければ、4 月初旬に申出無しと市 HP にて報告予定。</p> <p>何かご質問等がありますか。</p>
委員	<p>この苦情処理制度自体は大変風通しの良い制度だと思いますが、いくら情報誌やリーフレットで制度を P R しても、当事者は苦情処理を申し立てることに迷うと思います。住所氏名が知られてしまいますし。</p> <p>制度が十分に活かされていないのであれば、なぜ使いにくいのか、次の 1 年を考える年にしていただけたらと思います。</p>
委員	<p>苦情処理制度によってメリットを得るのは当事者ではなく、改善のきっかけとなる行政側です。</p> <p>苦情という形で問題が表面化し、改善することによって、同様の苦情が再び発生するのを防ぎ、良い施策につなげることに意義があると思います。</p> <p>ですから苦情に対して市は「市の施策が良くなる貴重な意見であり、言ってくれた方がありがたい」と捉えていただきたいと思います。</p> <p>パンフレットなども「ぜひ利用してください」というニュアンスが伝わるよう、工夫したほうがよいのではないのでしょうか。</p>
事務局	ありがとうございます。ご意見も参考としながら、今後検討していきたいと思えます。
事務局	<p>議題(3)平成 25 年度の男女平等推進事業の実施報告 (平成 25 年度に実施した男女平等推進事業について、資料 3 に基づき説明)</p> <p>何か質問等がございますか。</p> <p>次の議題に移ります。</p>

発 言 者	内 容
事務局	<p>議題(4)その他</p> <p>各委員様のご専門の分野などにつきまして、男女平等に関し最新の話題やお気づきの点がございましたら、お聞かせ願えればと思います。</p>
委員	<p>昨年度末の会議においてもお話ししましたが、DV離婚に伴い、加害者である夫が子の面会交流を要求する件への対応が、最も悩ましいと感じています。</p> <p>かつては加害者と子の面会に非常に慎重だった裁判所が、一転して積極的な姿勢を打ち出しているためです。</p> <p>それにより、被害者は離婚成立後新しい生活に踏み出したくても、面会交流に関する件に対応するため裁判所に通い続けなくてはならない、という状況が生まれています。</p>
委員	<p>雇用と男女共同参画という点で悩ましいと思うのは、新卒学生が経済的に自立できる職のポストが激減していることです。一昔前なら、新卒で中小企業の正社員の職を得ることができた学生たちが、今は契約社員の職しか就くことができません。</p> <p>働く地域、職種などを限定する「限定正社員制度」もありますが、そのうち限定正社員を解雇しやすくする法律ができてしまうのではと危惧しています。そうなれば、狙われるのは若い世代です。</p> <p>これから社会や地域で力強く育ってってもらいたい世代の働く条件がどんどん悪くなっていくと、地域が持ちこたえられないのではないかと思います。</p>
委員	<p>最近、内閣府と厚労省が全国的に展開しようとしているのが、性暴力被害者を24時間体制で支援する「ワンストップサービスセンター」です。</p> <p>病院に設置されるもので、愛知県では一宮市の病院がこのセンターを設置しています。他市もこのセンター整備を目指して動き出したようです。</p> <p>性暴力被害者支援は、そのままDV被害者の支援につながると思います。</p>

発 言 者	内 容
	<p>日進市には多くの学生がいますが、性暴力は学生にも起こります。デートDV被害者の支援を考えていただき、より若い人も相談しやすい体制を整えてもらえればと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>全体を通しての質疑、意見なく閉会を宣言。(20:00)</p>